# むつみ荘だより

2026年9月　第341号



医療法人社団　なごみ会　老人保健施設　あさぎりむつみ荘
〒673-0852　明石市朝霧台 1120-4　TEL (078)911-0623
なごみ会ホームページ　http://www.nagomikai.or.jp/


## 生成 AI と 人間の 相違点



### ・・・人間は失敗から　成長する・・・





医療法人　なごみ会
理事長　横山　光昭


2022 年秋に登場した生成 AI の一種のチャット GPT。大企業や個人が仕事やプライベートなど様々な場面で活用されている。私たちの生活を変える 人類の頭脳と人工知能の境目は曖昧となってきている。処が AI は失敗しないが、人間は意図せず失敗してしまう。いや　失敗することができる。

抗生物質ペニシリンは 実は 失敗から生まれました。1928 年 英国細菌学者アレクサンダー・フレミングがブドウ球菌を培養中に青黴が生えている事に気付いた。しかし青黴の周辺だけにブドウ球菌が繁殖していないことに着眼し、青黴が作り出す化学物質 即ち **ペニシリンが菌の成育を妨げる抗生物質であることを発見**しました。普通なら 培養中に黴が生えてしまったら、失敗としてしまう。処が 「どうして、黴の周囲にだけ、菌が発育していないのか」を見つけて追求した。青黴がつくる物質に強い抗菌作用があることを発見した。**失敗の中に、誰も気づいていない抗生剤の発見**に成功した事例である。

AI は、**基本的には「失敗しないように」設計**されている。与えられた情報をもとに、確率的にもっとも適切と思われる答えを生成する。しかし人間は違う。間違える・迷う・悩む・寄り道をする。そして、時には偶然の失敗から、誰も予想しなかったものを発見する。**特に失敗できることが、人間の弱さではなく創造性の源泉ではないか　また失敗を糧にして成功する**能力は　人類唯一の文化でもある。即ち 人間と生成 AI の大きな違いは**「失敗できる」才能** があることである。